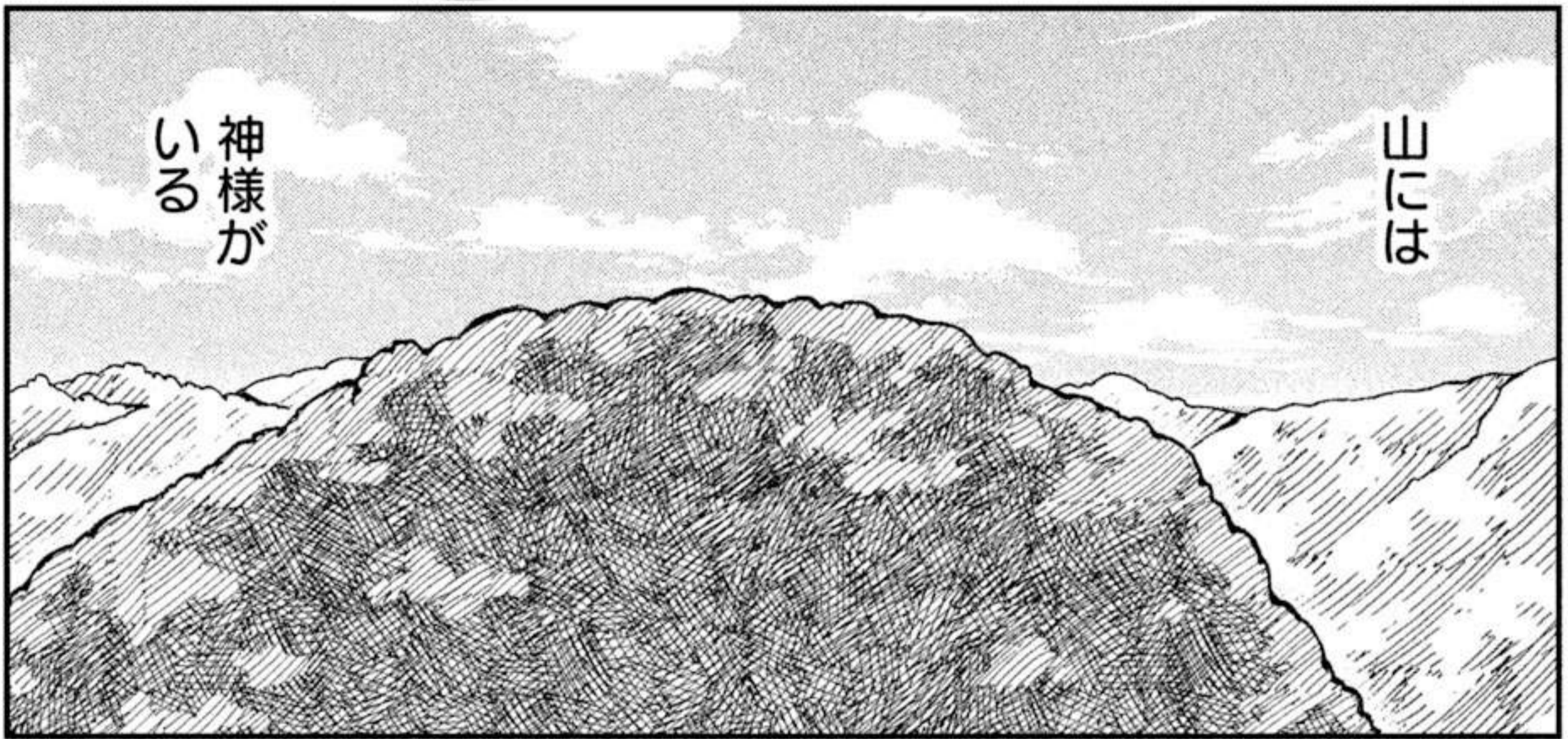


# 001 りっくんと山の神



山には

神様が  
いる



山の神様は  
祠ほこらに  
祀まつられていたり

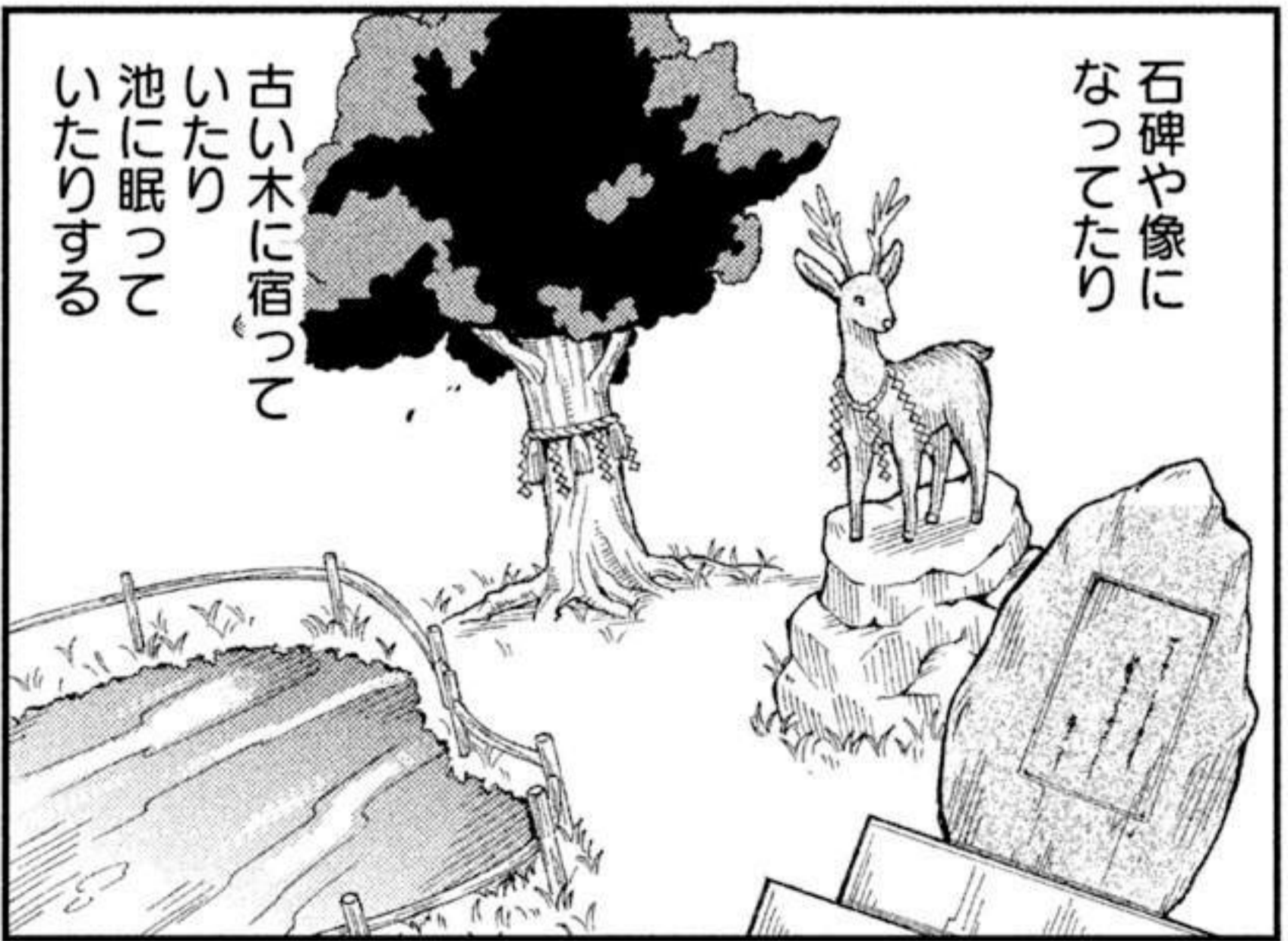


もともと  
この国には  
ありとあらゆる  
ところに  
神様が  
いるのだが

あたりの神様を  
まとめる  
土地神様が  
山に  
いる

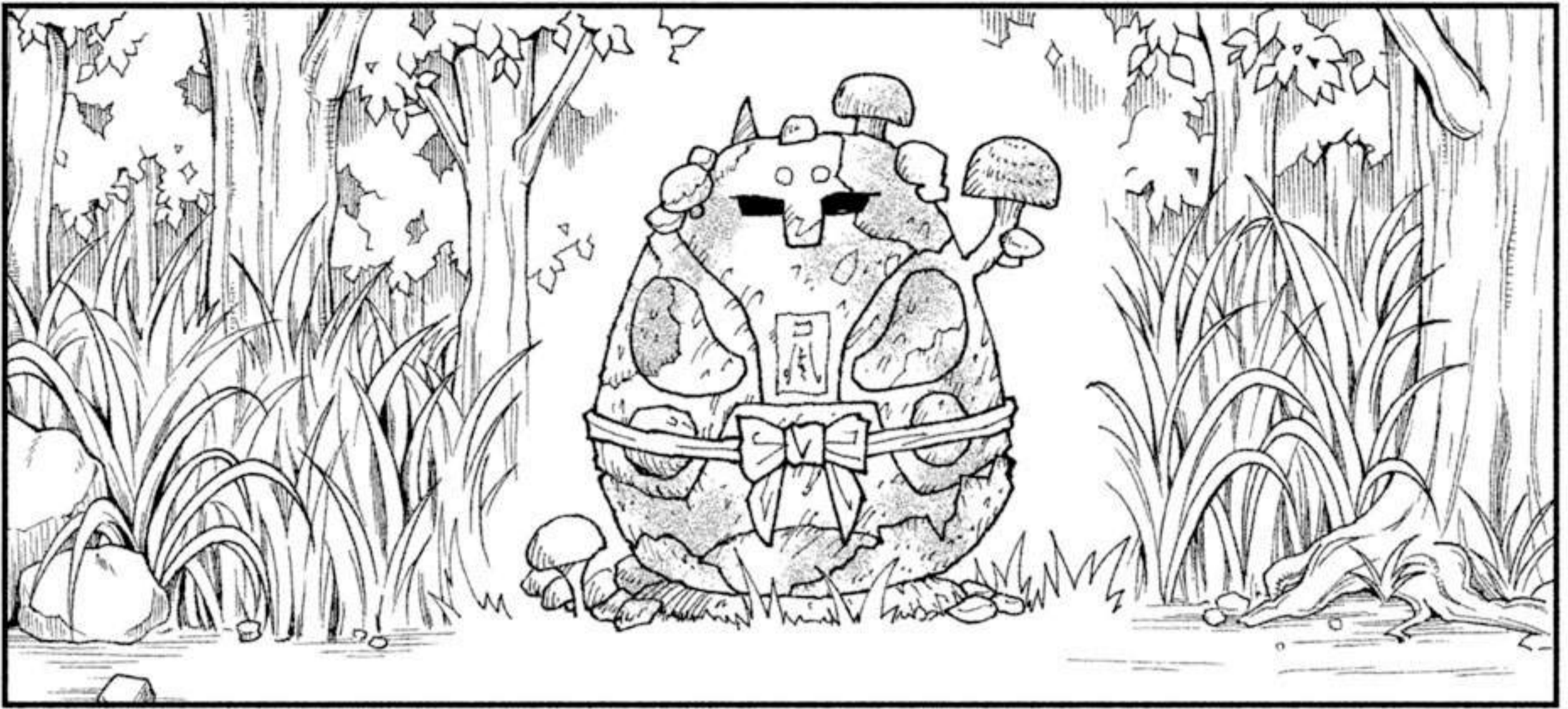


そして私  
この山の神は



石碑や像に  
なっていたり

古い木に宿って  
いたり  
池に眠って  
いたりする



ずっと  
ふもとの町を  
見守っている

ここから  
いつからか…



ここにいる



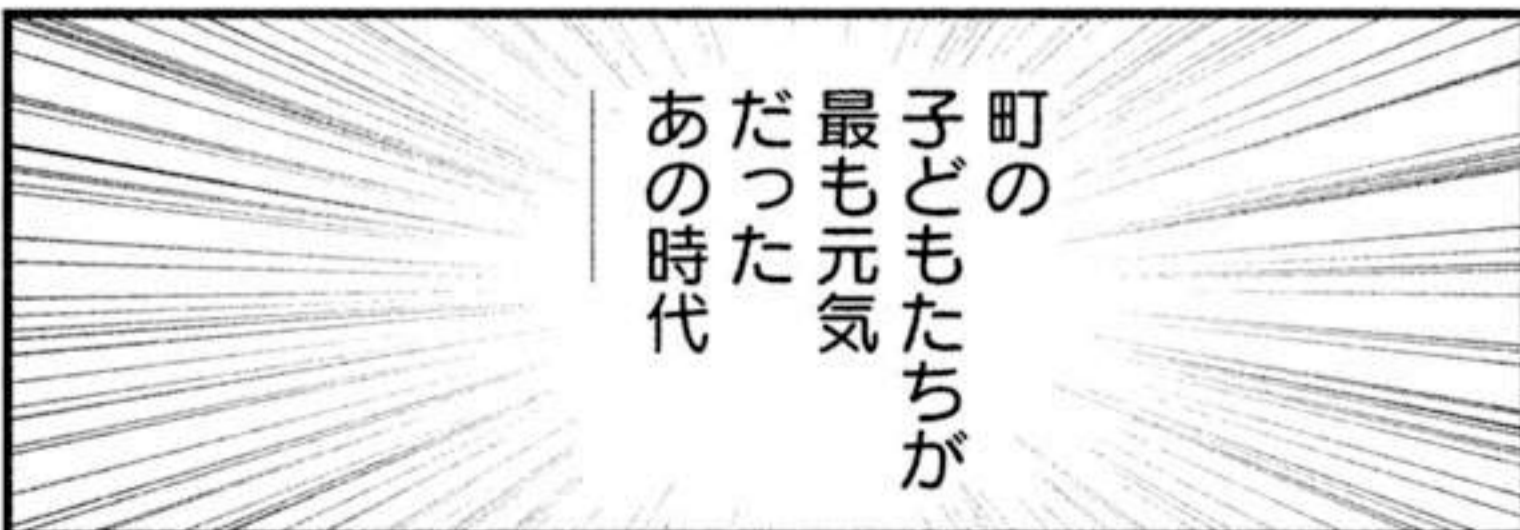
よく思い出すのは  
あの日々

町が最も  
元気だった  
あのとき  
あの時代



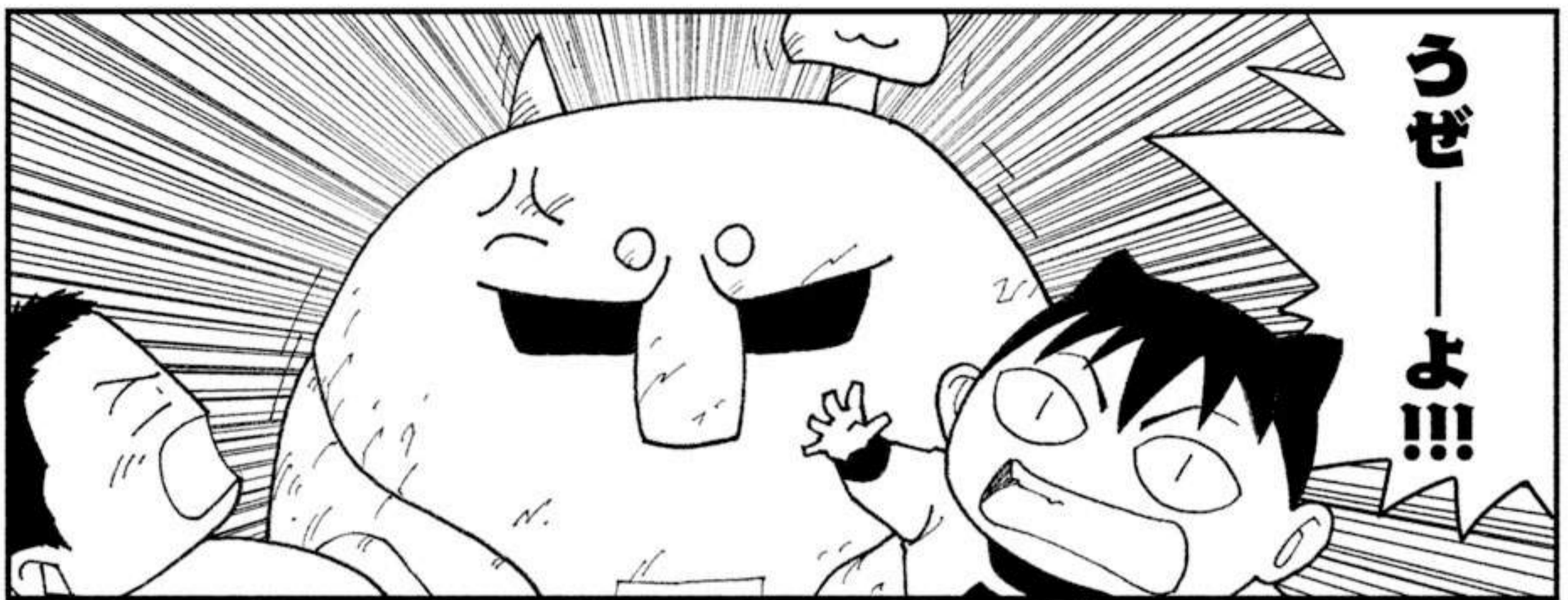
この町がまだ  
町でもない頃から

うつろいを  
見守っている



町の  
子どもたちが  
最も元気  
だった  
あの時代





うぜー——よ!!!



こんだけ  
いじられたら

そら  
しゃべるわ

しゃ  
しゃべった...



私は神様だぞ

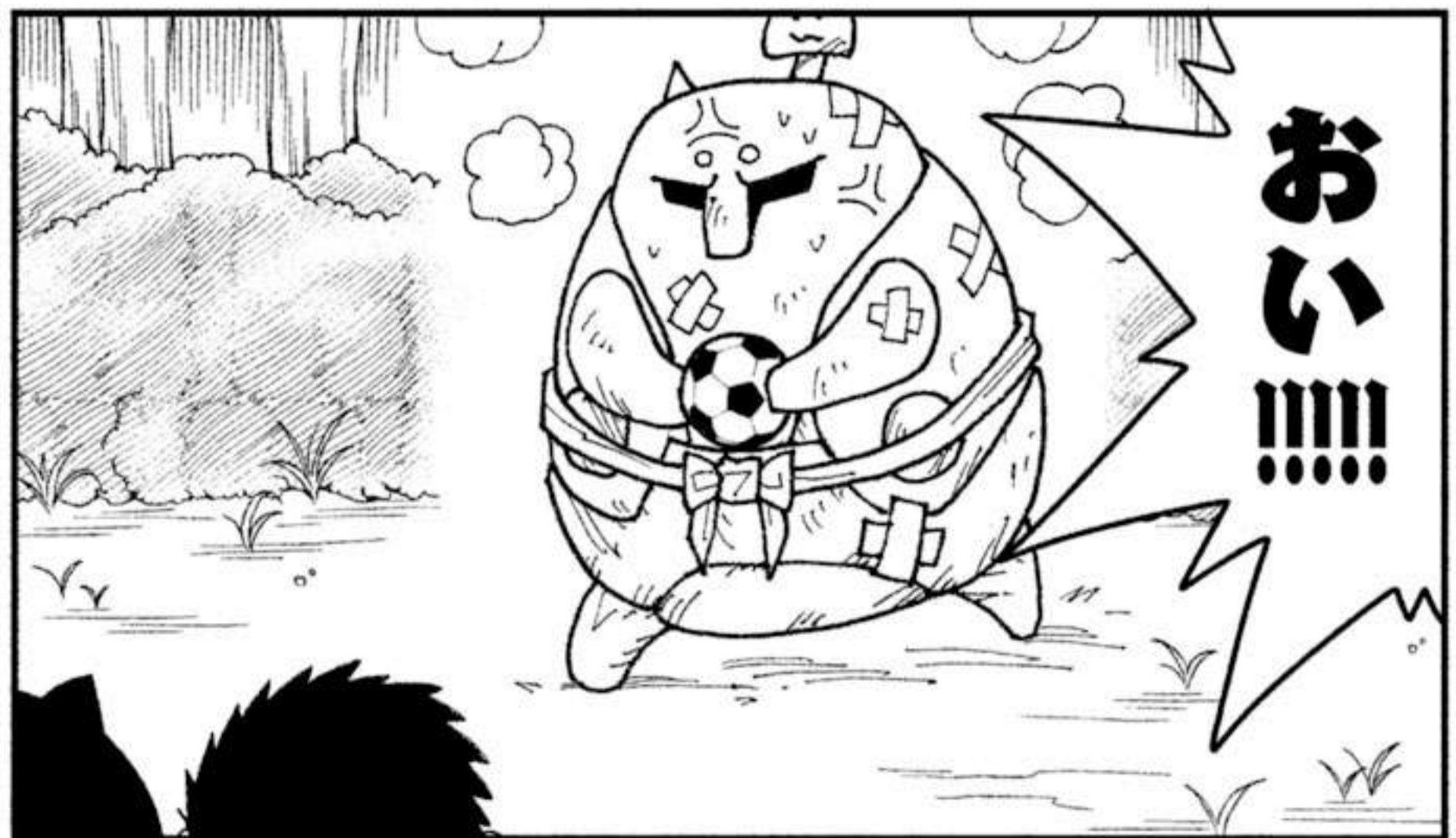
こころへんを  
お守りする  
土地神様だぞ

そうだった  
んだ

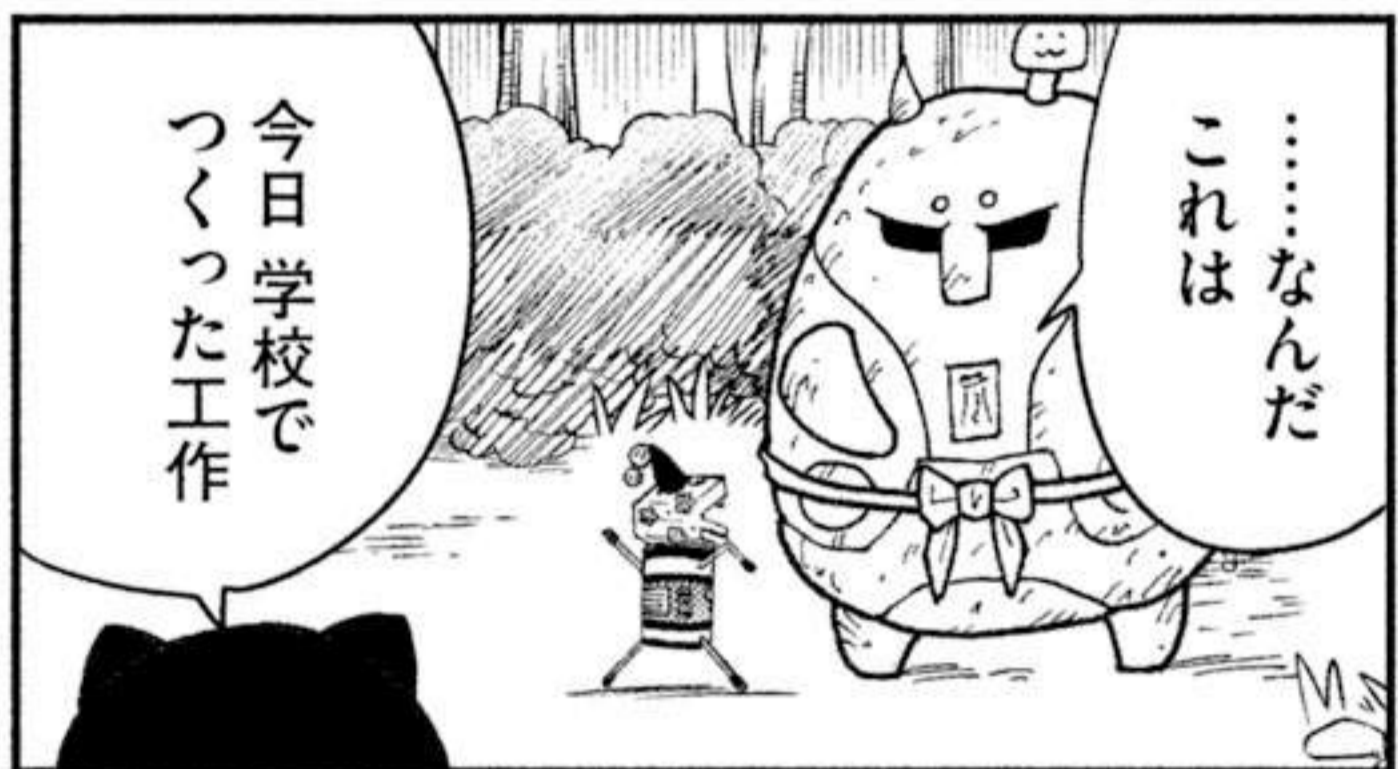


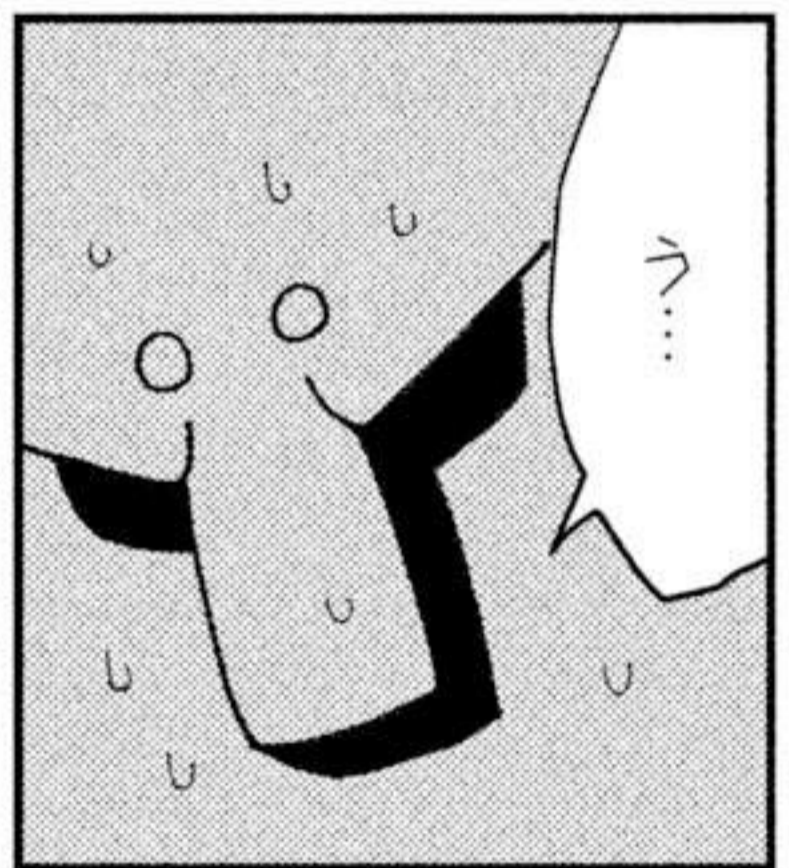
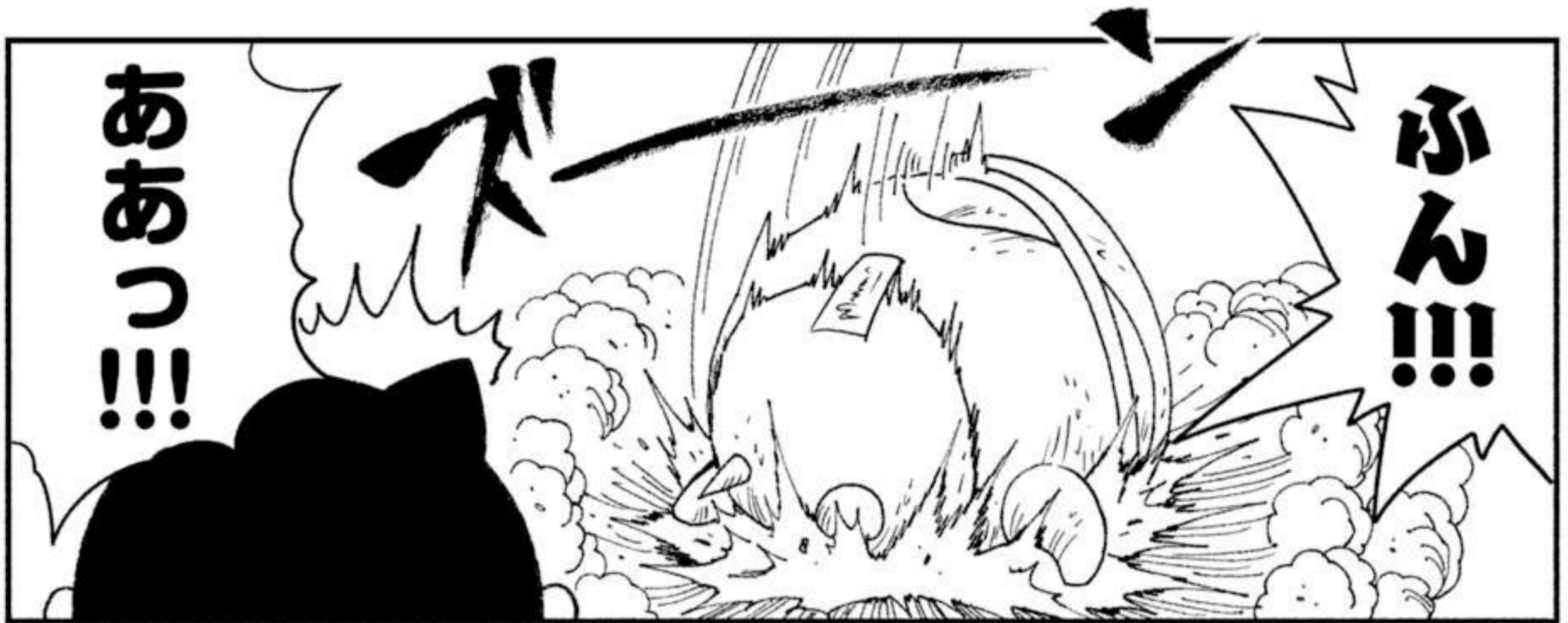
んなわけ  
ないだろ!!  
こんな荘厳なる  
ゴミがあるか!!

どこかの  
遊園地から  
払い下げられた  
人気のない  
置きものが  
山に不法投棄  
されてるのかと  
思った













ハラへったし

帰ろ帰ろ



今が  
千ヤーンズ!!

キキ

ポカ



ウウウ...



元気良すぎだろ  
一体どう  
なってるんだ  
この時代は

子どもは  
元気なほうが  
いいというが



ガキども  
めえ!!

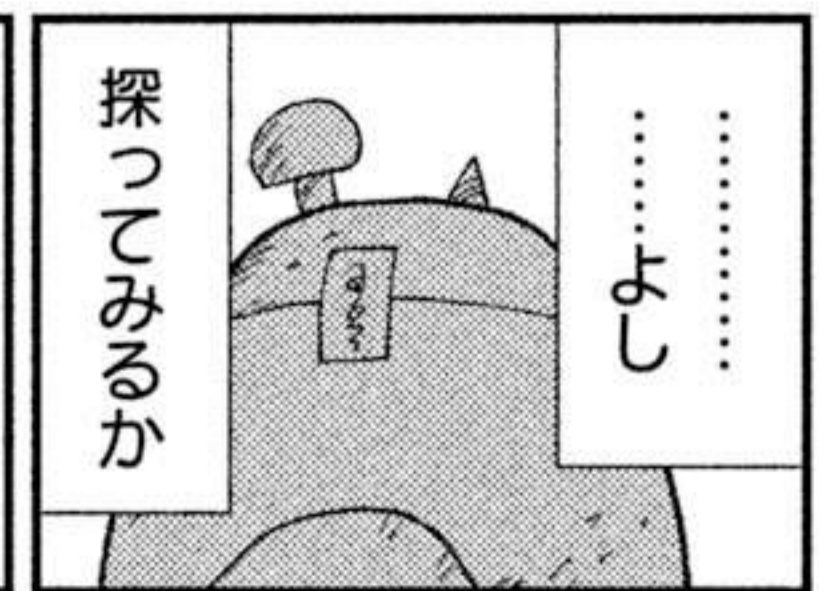


お..  
おのれ



集まれ!!

山の神が  
命ずる!!  
集まれ  
神のしもべ  
たちよ!!



探ってみるか

.....  
よし

